

市政トピックス

新本庁舎建設 ニュースNo.20



完成に向け、仕上げの工事が進む

内装では床のタイルカーペット（50センチ四方のカーペット）の貼り付けや案内板など、仕上げの工程に進んでいます。併せて空調機器などの設備工事、照明などの電気工事も動作確認などを行っています。



内装工事の様子（12月4日撮影）

外構工事では、駐車場の舗装工事のための路盤（舗装下の砕石敷き）が作られ、舗装をする準備ができて来ています。また、樹木を植える植栽工事も進んでいます。



駐車場舗装工事の様子（12月4日撮影）

本庁舎内庁舎建設推進課

TEL71・2000(代) FAX71・5000

はしど 教育長に橋渡勝也さんが就任



教育長 橋渡勝也

任期満了に伴う教育委員、固定資産評価審査委員がそれぞれ決まりました。教育長は、望月正勝さんが退任し、橋渡勝也さん（堀金烏川）が就任しました。任期は11月9日から平成30年11月8日までの4年間です。また、教育委員長には唐木博夫さん（豊科）が再任されました。任期は11月9日から平成27年11月8日までの1年間です。固定資産評価審査委員には、長谷川幹男さん（豊科）が再任されました。任期は11月9日から平成29年11月8日までの3年間です。

「市地域包括ケア推進会議」の第1回会議が11月12日、穂高支所で開かれました。

この会議は、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けられるよう、関係する団体が連携して保健、福祉、医療のサービスや生活支援策などを検討するために設置するものです。当日は、福祉、医療、区などの団体の代表者が出席。宮澤市長が

ら各委員に委嘱書が手渡され、会長には小田切徳正さん（市医師会会長）が選ばれました。

推進会議では、今後、年数回会議を開き、各団体の取り組みを情報共有するほか、市の地域包括支援センターに相談される内容から得られた課題を参考に、市の福祉政策について提言などを行う予定です。



宮澤市長から委員に委嘱書が手渡された

高齢者の自立生活を支援 地域包括ケア推進会議を設置

篠ノ井線の利用促進に向け広域連携 協議会設立

JR篠ノ井線の利用促進を図る「篠ノ井線松本地域活性化協議会」の第1回総会が11月12日、豊科交流学習センター「きぼう」で行われました。当日は、協議会を構成する松本広域連合管内8市村の首長や議会、商工観光団体、県の関係者など38人が出席しました。

総会では、宮澤市長が会長に

選任された後、役員選出や事業計画、予算などが話し合われました。

JR篠ノ井線は、来年3月に予定されている北陸新幹線の金沢延伸やサッカーJ2松本山雅FCのJ1昇格を機に、県北部と中信地域を結ぶ交通手段として、今後、観光振興や交流人口の拡大にその役割が期待されま

す。

協議会では、沿線住民の利用促進とあわせて、観光や商用での利用促進を図ります。平成28年度までの3年間の計画で情報発信のためのホームページ開設や宣伝用パンフレットを製作するほか、利便性向上や時間短縮等の調査・研究のための各種アンケート調査なども行う予定です。



総会で議長を務める宮澤市長

平和を守り続けていくために 平和のつどい開催

第4回平和のつどいと戦没者追悼式を11月22日、堀金総合体育館サブアリーナで開催しました。

第1部では、先の大戦での犠牲者に哀悼の意を表して戦没者追悼式が行われ、参列者は黙とうと献花を捧げました。

第2部の平和のつどいでは、8月に行われた広島平和記念式

典に参列した市内中学生の代表5人が作文を発表しました。大堀楓真くん（明科中3年）は、作文の中で「この平和を守り続けていくために、はたして今の自分には何ができるのだろうか。まずは一人ひとりがそこから考えていかなければならないと思う」と、今回の経験から得た平和への思いを会場に訴え



平和都市宣言を読み上げる中学生

かけました。

中学生による発表の後、満蒙開拓を体験した内田辰男さん（堀金烏川）による平和祈念講演が行われました。「作文を発表した皆さんと同じ年頃の14歳で満州に渡った」という内田さんは、鮮明に記憶している当時の出来事と経験を話し、最後に「来年の終戦70年を控え、もつと満州のことを伝えていきたい」と今後の抱負を語りました。